

【記入例】

輸出貿易管理令 別表第

2 貯蔵容器用

「項目別対比表」を記入する際は、該非判定に誤りがないように経済産業省のサイトや最新の関係法令集、CISTECの「輸出管理品目ガイド」などの専門書を参照しながら記入します。

http://www.meti.go.jp/policy/ampo/matrix_intro.html

©CISTEC
2017.01.07施行政省令等対応 (1 / 1)

| | | |
|------|---|-------------------------|
| 別1項番 | 3-(2)次に掲げる貨物であつて、 軍用の化学製剤の製造に用いられる装置 又はその部分品若しくは附属装置である もののうち 経済産業省が定める仕様のもの に該当するもの | 貨物名：活魚運搬容器 |
| | | メーカー名：〇〇〇株式会社 |
| | | 型及び銘柄：FISH-LIVE20XX-S1型 |

| 判定欄 | 注 釈 |
|-------------------------|-----------------------------|
| 該 当 ○ 非該 当 × 除外 - | |
| [×] | 数値 (0.7立方メートル) |
| [×] | SUS304を使用。鋼材メーカーの成分表を参考に添付。 |
| [×] | 数値 (ニッケル 10.5%) |
| [×] | 数値 (ニッケル 10.5%) |
| [×] | 数値 (クロム 20%) |
| [-] | 左記の材料は使用していない。 |
| [-] | |
| [-] | |
| [-] | |
| [-] | |
| [-] | なぜ対象外なのか、理由を簡潔に記入する。 |

| |
|---------------------------|
| 作成責任者：(作成年月日：20××年××月××日) |
| 会社名 〇〇〇株式会社 |
| 所属・役職 技術部長 |
| (フリガナ) 氏名 安全 太郎 印 |
| 電話 03 (1234)5678 |

| | |
|----------------------|---|
| 判定結果 | <input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 |
| 該当項番 | |
| ① 輸出令別表第1の項番 [] | |
| ② 貨物等省令の条項号等の番号等 [] | |
| [] | |
| [] | |

下線のある用語は、通達で用語の解釈が規定されている。各項の最後にある用語の解釈で必ず判断する。この例の場合は、「製造に用いることができる装置を用いる。」と規定されている。

緑色部分の [] を最初にチェックし、最後に [] 欄に該非を記入する！

数値の規制には原則、数値で回答する。

判定結果が、「該当」になる場合、許可申請の際に、必要に応じて、記入する。

単に〇×でなく、通常の一般人でも判断できる簡潔な理由を記入する。わかりやすい資料(成分表やカタログ等)があれば、添付する。

なぜ対象外なのか、理由を簡潔に記入する。

該当か非該当か、レ点等でチェックする。上記以外にも、輸出令別表第1の対象になっている他の機能がある場合は、関係する項番でチェックする。技術・プログラムは、外為令別表でチェックすること。

経済産業省、税関、警察等からの問い合わせに、回答できる管理職が署名又は押印をする。